

シアトルについて

札幌校 基礎学習開発専攻 3年 前川優菜

1) 授業について

授業はガイダンス時のテストで分けられたクラス毎に行われます。先生1人に対して生徒は15人程度です。私たちがプログラムに参加したときは、早稲田大学と明治大学の学生が多かったです。日本人の他に中国、台湾などから3人の学生が来ていました。

授業の内容は、博物館や名所を訪れるフィールドトリップのようなものとクラスルームで行われるもので構成されていました。クラスルームではディスカッションをしたり、映画を鑑賞したりしました。

授業の最後の方ではプレゼンテーションが行われます。授業の成績にも関わる重要なものです。プレゼンテーションは4人程度の班で行います。自分たちの班が決めたトピックについての質問を作り、10人のアメリカ人にインタビューをします。その結果を分析してパワーポイントにまとめ、発表します。授業内の時間では終わらないので、授業後などにもやります。



フィールドトリップにて

しかし、レベルはそこまで高くはないので真面目にやっていたら十分にこなせる量です。外国人の先生が授業を行っている外国語コミュニケーションや **Communication Skill** と同程度です。

そのため、一年生でも十分に対応できると思うので是非挑戦してみてください。

また、週に何度かオプションアクティビティーが行われます。クラスメートと仲良くなるきっかけにもなるので、興味があるものには参加してみると良いかもしれません。アクティビティーは参加が無料なのでバス代の他にはほとんど費用がかかりません。博物館に無料で行けたりもするのでお得です。

2) 生活体験について

私のホストファミリーはとても親切で、とても良い経験ができました。学校よりも家

庭の中の方が英語を話す機会が多いので、ホストファミリーと過ごす時間が一番のレッスンだったのかもしれませんが。私のホストファミリーは少し癖のある英語を話す人だったので最初は少し苦勞しましたが、次第に慣れてきました。休日にはホストファミリーに海に連れて行ってもらうなど思い出がたくさんできました。

しかし、私のホームステイ先は大学から遠いところにあつたので通学に片道約2時間かかりました。交通費は片道4ドルでした。そのため、私は大学でU-PASS（全てのバスが乗り放題になる定期のようなもの）を購入しました。確か12～13ドルくらいだったと思います。チャージ式のサピカのようなものもあるので、自分の交通費を計算して必要な方を入手するようにしてください。

また、通学の方法を調べるためにグーグルマップは使わない方が良いです。グーグルマップだと途方もないルートを教えられる可能性があります。グーグルマップに乗っていないバスの路線も多いので、ホストファミリーに聞くのが良いです。

クレジットカードは慎重に取り扱いましょう。私はクレジットカードをなくしてしまい、大変な目に遭いました。必ずクレジットカードが財布にしまわれたかどうか確認するようにしましょう。また、クレジットカードがないことに気付いたらすぐにクレジットカードの会社に連絡して止めてもらいましょう。私のような失敗をしそうで心配な人はクレジットカードを2枚作っておくと良いかもしれません。

私はプログラムの最初の週末に友人とカナダに行ってきました。シアトルとカナダは距離が近いので、バスで行くことができます。きちんと計画していればカナダやポートランドなどの場所に行くことが可能です。アメリカに着いたばかりの週末は疲労や時差ボケなどであまり活動ができないと思うので、使える土日は2回しかないと思います。そのため、アメリカに行く前からどこに行きたいのかを考えておき、週末を効率よく使えるように計画をたてた方が良いでしょう。

私が持って行って良かったと思う持ち物は飛行機用の耳栓とスリッパ、ティッシュペーパー、カメラなどです。特に耳が気圧変化に弱い人は気圧調整の飛行機用耳栓を買っておくことをおすすめします。また、向こうにはティッシュがないのでいくつか持っていくと良いでしょう。荷造りをする際には普段の自分の行動を思い浮かべて、日常的に使っているものを持っていけばよいと思います。荷物の重量には制限があるので、なるべく無駄なものは持って行かないようにしましょう。



スペースニードルにて